



白川風土記
刈越部
羽部
郡部

ル 4
317
1



松平越中守殿舊白川領風土記

越後之部刈羽郡

柏崎町

大窪村

中濱村

下宿村

比角村

枇杷島村

岩上村

劍野村

鯨波村

城川原村

北川原村

古町村

宮窪村

黒瀧村

貝淵村

新道村

藤橋村

堀村

上方村

下方村

横山村

南下村

早川村

仇水村

苗新田

細越村

久禾村

山口村

野田村

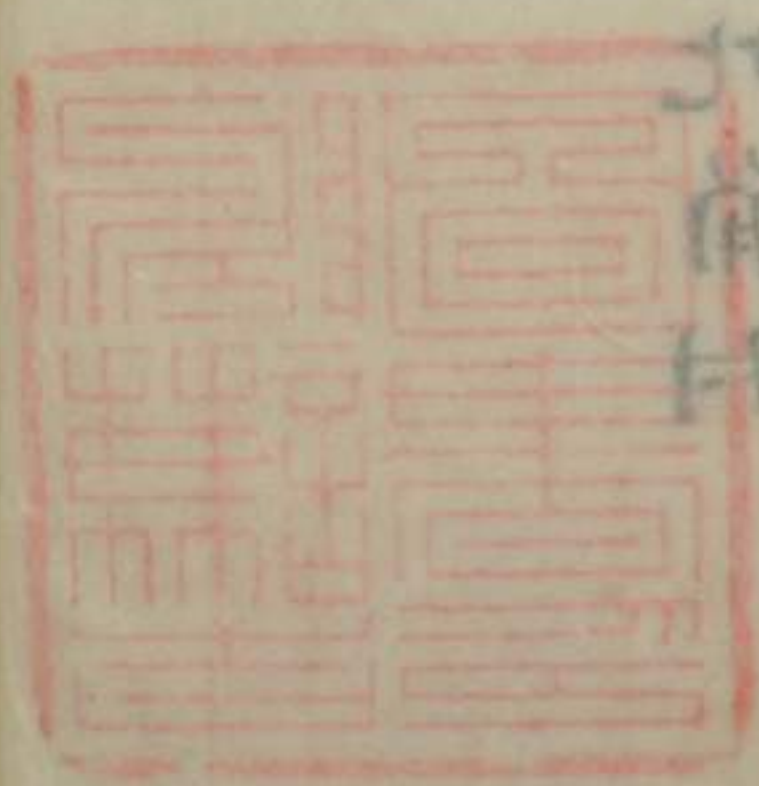
田屋村

木澤村

計三十一ヶ村



大宮林	中宮林	小宮林	北宮林
大宮林	中宮林	小宮林	北宮林
大宮林	中宮林	小宮林	北宮林
大宮林	中宮林	小宮林	北宮林
大宮林	中宮林	小宮林	北宮林
大宮林	中宮林	小宮林	北宮林
大宮林	中宮林	小宮林	北宮林
大宮林	中宮林	小宮林	北宮林
大宮林	中宮林	小宮林	北宮林
大宮林	中宮林	小宮林	北宮林



白川風土記卷之十五

越後國之部之一

越後國之部之一

越後國之部之一

越後國之部之一

越後國之部之一

越後國之部之一

越後國之部之一

越後國之部之一

越後國之部之一

越後國之部之一

越後國之部之一

越後國之部之一

越後國之部之一

越後國之部之一

本國... 羽郡... 鏡之郷... 大窪... 柏崎... 市町... 花... 運送... 船... 待時節... 奥押領

本國羽郡鏡之郷... 大窪村... 柏崎... 市町... 花... 運送... 船... 待時節... 奥押領

九々下二部ノ九上ノ
此所花一字下用ナ
元々一

使秀衡が代官由利太郎秀元郡司太郎七郎清村
四條西洞院在番勤十在こか佛ノ箱代ニ幼金多
リ上セケル去々年新部ノ課役ニアテラシ箱代
不足ニテ重テ砂金ヲ越路ヨツカハル所ニ越ノ
九ニ延引ハル頃世上騒ヒロテ奥ヨリ又野沃富
田山形ト云フニ下財方ノ頭人ヲ京ノワカハル
金奉行トシテ上セシカ柏崎ノ長カ許ニ立ヨリ
ケルニ本曾陣所ニ頭人ヲ召テ今ノ当用ニ北國
打ヒラキ上洛迄使セヨト恩顧有ケルハ脚力ヲ
秀衡ニ申送りケルニ本曾殿ハ八幡殿ニ孫ナリ

一礼セシト猪狩七郎竹ト云フ兵一龍蹄ニ尺
ヲ送トアリ是柏崎ノ名見ハルハ始ナレト録
倉賴經卿ノ頃源氏ニテ柏崎権頭勝長ト云人此
地ニ住スニ下香積寺ノ條越後名寄ニハ人ハ庄
園保同ノ類ナレト考テ置又日蓮託ニ文永
十一年三月日蓮融流ヲ免サレテ佐渡ノ國ヨリ
帰帆ノ時寺泊ニ渡ラレトセシニ折ラシ大凡ニ
吹ハナシレサレハハ二日ノ路ヲ過テ柏崎ニ
ワキエトアリ竟嘉法師ノ人北國紀行ニ明レ
ル越后ノ府中ニオモルニ旅情ヲ慰ヘテ教日

ニナリ子八月ノ末ニ又旅立柏崎ト云ハル所マ
テ夕アハ侍ハ村雨ノ打ソキト

箱モハ和路ハ聞モカシハ崎下ハニ遠キ秋ノムラサメ

ナント見ヘテ古領主ノ事ハ詳ナラサルトモ多
シ古ハ國守ノ任ニ下ラレシ人ノ改ヲ掌ラレシ
ナルハニ城ノ宿永宿茂元弟ト回ヨ司リ平氏滅
ヒテ後ハ賴朝卿ノ領國トナヘ東鑑文治四年申
文ニ賴朝知行國々相模武藏伊豆駿河上總下總
信濃越后豊後也トアリ夫ヨリ北條氏ニ至テモ
代々越后守ト稱シ人々又飛ビシナハル所

父人乱ニモ北條朝時北陸道ノ大將ニテ山國ヲ
リ改上リ日蓮記ニ文永十一年日蓮佐渡耶麻呂
ト云人越后ノ守也事ヨリ此ト上ノ何某
ハ國ヲ領シ上ノ事ヲ録シテ其ノ事ハ
殊ハ唯浮屠ノ事ヲ主トシテ其ノ事ハ
アハハハ此條氏滅テ新田勇貞ノ子息勇頭ニ
越后回ヲ賜ハル其後又之利永ニリ另賀貞衛入
道禪可ヲ守獲ニ置レテ貞治年中ニ上林氏部
大輔ニ守獲職ヲ与テラレテハ禪可入道トシ
怒テ越后回ニテ合戦及テ數月ト云テ太平
代ニ見ヘリテ上人貞治ノ頃新田ノ跡ハ國悉

上秋左近將監憲榮二賜ハハ云傳ノ北越大
平化ニテ憲榮ハ民ノ大輔憲頭ノ末子ニテ公方
多滿公ノ血双ノ寵臣リハ故ニ一國ヲ下サレシ
二十八才ノ時適也公方惜玉ニ上之息有
テ還俗也カトモ再ニ道也ト豆州大石卿如意
輪寺ニ閑居ニ因テ延安三年上秋ノ老臣長尾越
前子高景鏡倉ニ至リ古主憲榮ノ兄女房守憲方
ノ子ヲ誅目ト定メ民ノ大輔房方ト号メ其子氏
ノ大輔朝方其子尤馬助房朝其子相模守房定其
子氏ノ大輔房能房能長尾為景ニ討メ為景上條

上秋左近將監憲榮ニ賜ハハ云傳ノ北越大
平化ニテ憲榮ハ民ノ大輔憲頭ノ末子ニテ公方
多滿公ノ血双ノ寵臣リハ故ニ一國ヲ下サレシ
二十八才ノ時適也公方惜玉ニ上之息有
テ還俗也カトモ再ニ道也ト豆州大石卿如意
輪寺ニ閑居ニ因テ延安三年上秋ノ老臣長尾越
前子高景鏡倉ニ至リ古主憲榮ノ兄女房守憲方
ノ子ヲ誅目ト定メ民ノ大輔房方ト号メ其子氏
ノ大輔朝方其子尤馬助房朝其子相模守房定其
子氏ノ大輔房能房能長尾為景ニ討メ為景上條

秀力第守佐壽 神徳ト云 元西進祐益ニ軍勢ヲ淡
 手送テレ同郡琵琶島村ニ留リ居城ニ其時ヨリ
 柏崎モ守佐壽頼ナリトガ寛三五年ニ伊豆守定
 秀早世シ世嗣無キ故又伊豆ノ守佐壽能登守定
 興ガ子越守守孝忠ヨ迎テ家督トシ 其時ハ心部
 琵琶島村ニ居 其子駿河守定行 後改備定也ニ
 所ニモ委シテ 其子駿河守定行 後改備定也ニ
 長勝ト称シテ 其子駿河守定行 後改備定也ニ
 平化ノ内ニ駿河守ハ松ノ山ノ城也 柏崎ヲ持為
 景ト取合ナリト見入又北越軍徒ニ天文十三年
 景虎十五才ノ時兄長尾三郎景上田ノ長尾政

景ト勒ヒ瓶割坂 柏崎ノ南ニ 二ニ大ニ勝利ヲ得
 景席勝テ首鎧ノ緒ヲ取リト即時ニ戰場ヲ退散
 ヲ柏崎ニテ引入ニシテ生口ハ捕ヲ交捺アリ
 又龜田年佐渡津ノ時景虎四月十五日府城ヲ首
 途シ玉ニ其日柏崎ニ着陣翌日柏崎ニ至リ妙樂
 寺ニ止宿ス任持ノ僧真十八智識ニテ其勇ノ登
 在ハテ以近年越中津ニモ折々誘引シ玉ヲ任持
 ハ日蓮ノ書クハ曼陀羅ヲ指物トシ旗奉ノ部伍
 三列シ軍鑑ノ見積リモ巧者ニテ敵方ハ使節ヲモ
 丈大ニ勤メ中ニ怨遇セリシ今度モ相徒 今所樂
 寺ト云

寺長十し 庵 宇佐壽七 子後 三島郡赤田村 藤下
野守ノ知行ノ下ノ 新島尾石川ノ上ノ 敷ノ
其一家ノリ 又永三 六年長尾石川ノ中ニ 于敷ノ
時相寄在工門 大長是光討死ノ 天文二 十三年川
中島合戦ニ 相寄日 白守見ノ 亦保心年 同時ノ 戦
ニ 考證ノ 無キ 手ニ 相寄 時員 二 名 年 任 別
ノ 旗 二 月 二 日 地 于 領 十 日 名 來 二 年 任 壽 景
勝會津ハ 福封ノ 後 塚家ノ 領ト 十 日 慶長 五年 北
日下 向會津ヨリ 寄為 一郎 元工門 長尾 善九 工門
多田 潤介 藏朝日 藏人ヲ 指越ケレバ 浪人 只力ヲ
得 七 月 止 上 日 相寄 三 條 也 子 始 松平 上 總 介 忠
大 在 今 所 々 一 同 一 様 ヲ 起 人 始 松平 上 總 介 忠
輝 翁 酒 井 元 工 門 封 松平 伊 豫 守 松平 勘 右 衛 門 科
所 給 兼 丹 後 守 戶 田 能 登 守 ノ 領 才 経 歴 又 正 徳 元

年ヨリ 当領ト 十八 本町通り 十三 町川町谷町長
町新町大町中町今町下町新町新町新町新町新町
下新田町諏訪新田町ト云南裏町六町川端町橋
詰町鳩町廣小路町高畑町下圃町北裏町三町舩
屋町法華堂下町四ノ屋町北陸道ノ街道筋ナリ
上リノ 録波村ハ 一里下リノ 子 板 領 店 川 取 一 三
里 八 丁 人 画 才 継 立 心 柳 庄 ノ 名 起 リ 以 詳 ナリ
下町神明ノ 由 縁 二 據レハ 当町ノ 内 三 古 八 比 角
ノ 庄 内 三 比 角 ノ 庄 八 束 鑑 三 出 日 八 事 比 角
村ノ 條 二 詳 ナリ 八 鶴 川 庄 八 束 由 益 詳 ナリ

入鑑郷トト当町ヨリ南采山黒姫トハ山他領ナ
八石山ニ見エリノ同ノ田也ヲ指テ今モ鏡ヲ鏡汁
ト唱ヘ數十村アリ等ノ名郷名ト相アツカハ
ニ似タリ然レ長和名折ノ郷名トハヤシ所ニ鏡
ト云フ郷ト見ヘ可レハ詳ニ考難シ

天本町通リ日蓮百ヲ隔テ遠ニ何州ト山々リ見
其南河野町ト通リ是ノ里ノ中ニ新ト出テ多ク集
陣屋ヨリ山丁ノ隔テ北ノ嶺同当ハ總町ヨリ見
レハ最南ニアリハ町ノ南首ト鴉川橋造ヲ受テ
谷所ノ南ニ續リ長ク三十間ノ数ニ十六軒町幅
三間家並東西兩側ニ列テ和古ト南院ト云フ森
里部鴉川里部軒女ト和古ト一トハ山行ト云フ
所ノ南ノ方ヨリ流ル川幅十九間深サ數三尺水深ハ
此ヲ去ルト河里黒姫山ト麓所折居村ヨリ
出テ當町ノ西ニ丁ニ以海ニ入リ町折トナリヘ

天本町通リ日蓮百ヲ隔テ遠ニ何州ト山々リ見
其南河野町ト通リ是ノ里ノ中ニ新ト出テ多ク集
陣屋ヨリ山丁ノ隔テ北ノ嶺同当ハ總町ヨリ見
レハ最南ニアリハ町ノ南首ト鴉川橋造ヲ受テ
谷所ノ南ニ續リ長ク三十間ノ数ニ十六軒町幅
三間家並東西兩側ニ列テ和古ト南院ト云フ森
里部鴉川里部軒女ト和古ト一トハ山行ト云フ
所ノ南ノ方ヨリ流ル川幅十九間深サ數三尺水深ハ
此ヲ去ルト河里黒姫山ト麓所折居村ヨリ
出テ當町ノ西ニ丁ニ以海ニ入リ町折トナリヘ

小舟カ、リ居ハ川年免親疑其誣分甚分
多ニ程原ノ詠セシ歌トテ土人ノ言傳ヘニ

越終ハ鶺鴒川ニアユノスルモノヲ鷹野ニ雉ノ鳴スモカハ

里姫山ノ里姫神女ノ所手洗一升ノ出坪ト唱ヘ
一升マズノ如キ水坪ニケ所ヨリ湧出ハ水ヲ藤
天夢清水ト云フ其水ハ川ハ落ハ故川水至テ清
クナ久シリ貯ルニ味変スルヲ十ハ海運ノ大船
其喜テ山水ヲ齎ラトセ也鶺鴒川ノ名高キ名ニテ
延喜式神社ノ所ニ見ヘタリ

佐渡ノ遊

天気静ナハ日海面ヲ隔テ遠ニ佐州ノ山々ヲ見
ル時ニヨリ山遊トテ山峰ニテ勤キ出テ或ハ集
り或ハ散ビ変化出没狼鬼ノ間ニ人ノ觀ヲ改メ
シムルヲナリ

鶺鴒川橋

鶺鴒川ノ架ス板橋ナリ長サ二十二間幅二間二尺

觀音堂

鶺鴒山ノ上ニナリ

堂 七間四方ナリ身立像長サ二尺九寸寸

ハ作云傳フ

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

谷町

川町ノ北ヨリ長町ノ西ニ續ク長四十間斗幅三
間戸敷三十三軒家並東西両側ニ列ス

鉢山

町ノ西側ニ鶺鴒川ノ東岸ニアリ二十間四方ノ
不高キ山ナリ

観音堂

境内東西十五間
南北二十五間

鉢山ノ上ニアリ

堂 七間四方ニ尊本佛立像長々二尺九寸行基

ノ作云傳フ

本佛尊本佛

和名ニ云フ
祖ノ尊

云鳥ノ空ヲ翔ハ皇子ニシテ見テ何ト云フ鳥ガ
ト向ヒ玉フ仍テ天皇山也大鶴ニ勅メ信濃国ヨ
リハ所ニ至ラシメ浦人ニ和那綱ヲ張ラセ其鳥
ヲ獲タリ其時天皇夢ニ出雲ノ大祖ヲ祭レトノ
神託ニヨリテ大神ヲ勧請スト云フ慶雲ノ昔
國中疫疾ヲ患ヘ時国造ヲメ当社ヘ幣ヲ捧ケテ
祈ラシム是コリ部内今ニ疫疾ヲ病ムモノナシ
トナリ祭日ハ六月七日ヨリ十四日ニ至ル境内
期望ヨクニ成ル地ナリ北リ方海所又ニ三丁計ヲ
隔テ遠ニ佐渡ヲ望ム権守ノ観音山下高村若神山

海上ハ突出ノ東西相對スルカ如シ夜ハ漢火鳴
燠ニ連リ景尤佳之土人夏日納涼ノ処トスヤ間
本社四ノ間三ノ間三尺萱葺
幣殿三ノ間四方萱葺
拜殿四ノ間三ノ間三尺萱葺
神樂殿三ノ間四方所拜東西二間南北二間
稻荷社七石小社末社也
八天宮末社也
鳥居ハ高サ二丈一尺幅一丈五尺
石鳥居ハ高サ一丈八尺幅一丈二尺

アリ上一字埋没ス彷彿圓字ニ似タリ下光寺ノ
二字分明ナリ恐ラズ寺号ナハレニ然モ考ハ所
ナレ古物ナハレシ土人以此ヲ立地藏ト云フ

取問屋 茂作
細頭 武平

茂作武平ノ去ハ亥年不穀高價ニテ貧民飢ニ反
ヒケルニ餘考ノ末金ヲ以テ先難ヲ救ヒ誠愛ヲ
以テ討ヒケル故室曆六十年褒賞ス

一 大町

扇町ノ東ヨリ中町ノ西ニ結ル長サ四十六間斗
幅四間家並南北西側片敷十九軒
高札場一ヶ所南側ニアリ
官ヨリ令セテハ 旋條目ヲ搭リ
何レカ草ヨリハ柏崎町ニテ取亭ヲ立置キ上下
往來ノ人馬ヲ継々ニヤ濫觴ハ尋知ハハカラ
ス忠輝卿ノ部内タリシ時執政ノ人ヲイヨリ黒
印ヲ簽ノキハシテ今ニ郵亭ノ者等カ家ニ付テ
凡テ下ニ録ス 鯨波村ニハ文章ト又別ニ一通

ヲ持傳テ其書ハ鯨波村ノ部ニ記ス
傳馬高次出

一 柳何子信公ハ丹波ノ河津ノ子茶の
多ク三ツテ其ハ根生念ハテ決公ハ其
他所ノ一切善法ヲ其知事ニ命ジ
一 江戸路ヲ所由命カシテハ各處判シ
切子テハ通子ニ命ジテ上下ノ所
切子ヲ以テ信公ノ命ニ命ジテ其
所由ノ所ノ所ニ押立ニ命ジテ其
所由ノ所ノ所ニ命ジテ其

一 上下ノ所由命カシテ其
所由ノ所ノ所ニ命ジテ其
一 殿様御所ノ所由命カシテ其
所由ノ所ノ所ニ命ジテ其
一 大徳寺ノ所由命カシテ其
所由ノ所ノ所ニ命ジテ其

可也其若御之儀を人するに在りて然る事
行へ人馬をうりてなりより人馬のたえ
まへて中

一 江戸諸所の所仕をのりて信了なるは
石よりりて役教之の中

一 大急と道犯に候折をていひ首を
うりてある隠主の中つたれはて
一 長ん所業の者共のあはれを
仍如許

能得事

身人正

古江守

古江守

石見守

慶長十三年九月
永徳寺門外にあり勧請年代詳し
定々不期に臨て執行下を又
社殿少祠あり八間五尺
社殿少祠あり八間五尺
天板昇本尊座を蔵木御坐

石薬師

町ノ中街上ニアリ四方五天餘ノ建石ニ三尊ノ
坐像ヲ彫ツリ扇町ノ石地藏ト相類ス皆自ラ現
出スハ雲石ト云傳フ土人ト薬師ヲ子マリ地藏
藏ト云フハ是ニ對シテ子マリ
地藏ト云フナラハマシテハハハ

永徳寺

境内東西五十四間
南北四十間餘

町北側ニテ末ノ端ニアリ真言宗京師教恩院ノ
末山ナリ山号ヲ柏原山ト云フ院号ヲ宝生院ト
云フ應安五年僧聖海ノ草創ト云フ聖海ハ和州
吉野ノ人ナリトツ其後永徳元年一宇ノ道場ト

ナリケレハ始メテ寺号ヲ称ス其所本柏木ノ
多キ原野ナリ故ニ山号ヲ柏原山トス本尊ハ
行基ノ作ル虚空藏ニナ南天ノ宝生尊ナリ故ニ
院号モ亦是ニ本ノリ近郡ノ檀林所ノ寺格ニテ
正保四年ニ開ニニ開ニ天竺音

官ヲリ三十一石ノ形制印ヲ五フ元ハ大久保石見
後ニ印ヲ朱印
ヲ改テ賜ハ昔堂塔前坊下馬牌等アリテ舊記傳
記ヲモ持傳ルハ氏所沿革年中回祿ニ罹ル鳥有ト
墳ハ五間ニナリ

客殿十間三八間正天板鼻本尊虚空藏木佛坐

像長一尺三寸五分

庫裏 五間 = 七間三尺

護摩堂 二間 = 二間三尺 瓦背堂中 = 歡喜天

像の安置

稻荷社 二間 = 二間三尺

鐘寺社 二間 = 二間三尺 板音

什物

葉師如來木佛座像長一尺三寸五分 春日ノ作

地蔵菩薩木佛立像長三尺 弘法ノ作云傳

不動尊木佛立像長七寸五分 興教ノ作ト云傳

大黒天木像長三寸五分 菅公ノ作ト云傳

神御祭天皇ノ朝慶雲二年 歲在癸卯 乙未 皇極天皇

直人大村吉國少司馬 天下向以時北狄征伐 鎮

大島三浦鶴川佐橋田ノ間水門ノ

保長... 大里... 不... 樂妹... 十... 之... 勢

神邊中町

大町ノ東ヨリ今町ノ西ニ縁リ長ク一丁斗幅四

間家並南北兩側戸敷五十一軒

本石井神社社地東西十間餘

東鴨部社家 樋口河内

町ヨリ北ノ方ニアリ總所ノ鎮守ニテ住吉明神

ヲ祠ル初テ人皇四十四代

淨御原天皇ノ朝慶雲二年威奈鏡公ノ三男猪名ノ

真人大村当國ノ司トメ下向ノ時北狄征伐鎮獲

ノ為三島ノ浦鶴川佐橋田ノ間水門口ニ綿津見

宮住吉明神の勸請入下云下延暦年間造水門口
ニアリシカ地震洪水ニテ社埋没ノ今ノ石井崗
ニ遷座アリ則延喜式ニアル三島郡石井神社是
ナリ其舊地海上鳥居懸リト云ノ所ニ石ノ鳥居
アリ今モ此所ハ淺海ヨリ止レバ災アリ月次六十
度納幣ノ神事アリ祭日三月二十一日也
本社ニ土間三間ニ二間神體ハ神秘ニ見ル
幣殿ハ四間ニ三間萱骨南面
拜敷ハ五間ニ三間三尺板骨南面

神輿殿 二間 三尺 二間 板骨東面

稻荷社 一間 三尺 四方

鳥居 高三間 幅二間

浄土寺 境内東西四十五間
南北二十五間

町ヨリ北方納屋町ノ境ニアリ浄土宗ニテ山
号ヲ宋松山院号ヲ華嚴院ト云ノ京師智恩院ノ
末山ナリ寛正四年智恩院ノ弟子友清ト云フ僧
回国ノ折カテ此所ニ還出シケルカ日ハ檀縁
ヲハケレハ勸テ以堂宇ヲ創立セシム因テ本山
ハ寺号ヲ諸テ浄土寺トナリ又万治元年祝融ノ

災ニ罹リ傳記烏有トシ八往古ノ事分明ナリ
今ノ蘭若ハ元祿八年一隆ト云ノ僧再造ス
客殿 十二間ニ九間極背南面本尊阿彌陀如來
木佛立像長ク三尺二寸春日ノ依ト言傳
庫裏 十二間ニ十一間極背南面
聖德太子堂 三間四方瓦背本尊本佛立像長ク
一尺五寸太子自ラ作ル所ト云
閑居坊 東西八間南北六間
塔頭 華嚴院
林樂西永寺 境内東西二十八間三尺
南北十六間三尺

町ノ北側ニテ小路二十間餘ヲ經テ寺ニ至ル淨
土真宗ニテ山号ヲ歸敬山ト云ノ文祿年間ノ開
基ニテ越中長沃ヨリ當町ニ移ル宗師西本願寺
ノ末山也
客殿 十一間三尺ニ九間三尺極背本尊阿彌陀
如來木佛立像長ク一尺三寸春日ノ依ト言傳
庫裏 十三間ニ七間極背南面
經藏 二間四方極背西面
鐘樓 二間四方極背南面
塔頭 西敬寺 往相寺

石井神社 浄土寺 西永寺

免除地 五輪寺 浄土寺 西永寺
浄土寺 西永寺 浄土寺 西永寺
浄土寺 西永寺 浄土寺 西永寺
浄土寺 西永寺 浄土寺 西永寺
浄土寺 西永寺 浄土寺 西永寺
浄土寺 西永寺 浄土寺 西永寺
浄土寺 西永寺 浄土寺 西永寺
浄土寺 西永寺 浄土寺 西永寺
浄土寺 西永寺 浄土寺 西永寺
浄土寺 西永寺 浄土寺 西永寺

斗室高標

今町

中町ノ東ヨリ下町ノ西ニ繞リ長廿九十間斗幅
四間家並南北兩側戸敷四十軒斗街中ニ六尺四
方ノ井ヲ鑿リ
二ノ竹行寺 境内東西五十間餘
所ノ北ノ方二十間餘ニ下リ法華宗ニテ山号ヨ
海岬山ト云フ慈福ト云フ僧ノ開基ニテ本八天
台ノ敷ヲ奉ヤシカ文永十一年三月十五日日蓮
遠流赦免ニテ任渡ノ国ヨリ同郡下宿浦ハ着岸
下リテ慈福ト法論ニ及ヒシカ慈福終ニ帰伏改

宗ノ日蓮ノ系子トナリ名モ日心ト更ノ夫ヨリ
以来法華宗ノ寺宇ハハナリ又伊豆國田方郡玉
沢村妙法華寺ノ末山也

客殿 九間ニ八間三尺板皆南向本尊中央法華
宝塔脇佛身室如來釈迦如來共ニ木佛座像長ハ

二尺作者詳ナラス
庫裏 八間三尺ニ二間板皆東面

七面堂 二間ニ二間三尺
塔頭 蓮藏坊 宝藏坊

今什物

日蓮授与ノ曼荼羅 一幅

日心自筆ノ曼荼羅 一幅

按スルニ藩翰譜ニ天三十二年羽宗筑前守秀

吉越后國柏崎妙樂寺ノ僧ニ日蓮宗 木村除一

右工門尉副使トシテ景勝ハ音信ヲ通シカサ

子ニ又木村ヲ使トシテ永リ兩家ノ好ヲ結ハ

ハキ由ノ起請文カキテ送ラルハアリ今妙樂

寺ト云寺ナシ言ヤ此妙行寺ヲ轉寫ノ誤ニヤ

本妙寺ノ事ニ
天記ニヨリ又

免除地

田慶園茂ノ為ニ勸誘スル所ト云フ塔水池ハ次
第ニ淤塞シ今ハ僅ニ本社ヲ西ニ二間四方斗
水池残り仰手洗トシ然レ猶ホ天ニモ水固ニ
下十二眼程ニ患ル者ハ水ヲ以テ洗ハハ忽チ愈
ルトナリ總町産神鎮守ニシテ祭日ハ三月十日
日ヨリ六日ニ至ル

本社 二間ニ一間三尺萱葺東面

幣殿 二間ニ二間三尺萱葺東面

拜殿 三間ニ二間三尺萱葺東面

卯拜 二間ニ二間三尺萱葺東面

石鳥居 高廿一丈八尺幅一丈二尺

縮荷社 石小祠末社也

専福寺

境内東西三十間南北十九間三尺

町ノ北側中程ニ九尺餘ノ門アリ浄土真宗ニテ

山号ヲ念壽山云フ京師東本願寺ノ末山ナリ

元和年中勢中國射水郡東條村僧願乘園基ナリ

宝曆年中災ニ罹リ今ノ堂宇再建ニ成モノ也

本堂 九間ニ十間板葺東面本尊阿弥陀如来長

廿二尺三寸作者詳ナラズ

庫裏 五間ニ十間萱葺東面

大門後間

鐘樓 二間 四方 萱骨

塔頭 壽修寺

西福寺

境内東西三十三間
南北十八間

所ノ中程南側ニアリ幅二間ノ大間アリ淨土宗

ニテ山号ヲ養田山院号ヲ佛齒院ト云フ京師智

恩院ノ末山ナリ山寺昔同郡半田村ニアリシヲ

中興開山巖察ト云フ僧室徳年中相越ハ心ヲ合

セ当地ノ堂宇ヲ移ス慶長十九年災ニ罹リ燒之

北古記ニテ失フ故開基ノ由緒詳ナラズ

本堂 八間ニ七間三尺板骨北面本尊阿彌陀如

未長ク二尺三寸脇土觀音勢至共ニ長ク二尺三

寸仰者詳ナラズ

庫裏 六間三尺ニ八間三尺板骨東面

常福寺

境内東西三十九間
南北十八間

町ノ南側東ノ端新助町ノ境ニ接ニ幅九尺ノ門

アリ禪宗ニテ山号ヲ柏栗山ト云フ同郡大窪村

洞雲寺ノ末山ナリ開基ハ永祿六年祖廓ト云フ

僧ノ建立スル所也

本堂 五間三尺ニ六間三尺板骨北白本尊毘沙

門木佛立像長ク一尺八寸傳教ノ作ト言傳フ

庫裡 四間 五間 三尺 板脊北面
諏訪社 二間 三間 板脊北面 鎮守ナリ 祭日ハ

三月十四日ヨリ十五日マテ

鳥居 高一丈五尺 幅九尺

淨教寺 境内東西二間 南北二間 一間

町ノ北側東端ニアリ 幅九尺ノ門アリ 浄土真宗

ニテ 山号ヨ 永聖山ト云フ 宗師東本願寺ノ末山

ナリ 明應ノ頃 蓮如ノ弟子 教信ト云フ 僧加洲宮

ノ腰ニ小庵ニ結ビ 居住セシ 所寛永年中 道慶ト

云フ 僧六地ト下ニ 堂宇ヲ造立ス

本堂 九間 七間 板脊東面 本尊阿彌陀如來木

佛立像 長ク二尺三寸

庫裡 四間 三尺 九間 三尺 板脊東面

鐘樓 九尺五寸 四方

塔頭 法教寺 林正寺

圓通寺 境内東西十九間 南北三十三間

町ノ南側小路ハ入ル 二十間 板脊東ノ方ニ 寺

アリ 真言宗ニテ 山号ヨ 觀來山院号ヨ 上宮院ト

云フ 当町 遍照寺ノ末山ナリ 開基ハ 應永七年 遍

照寺ノ末山ニ 賴圓ト云フ 僧建立ス

客殿 六間三丈七間三丈 椽皆南向本尊聖位
太子木像長七尺二寸太子直作十人言傳

庫裡 三間三丈四間椽皆南向

稻荷社 六尺四方椽皆南向鎮守也

免除地

神明宮 專福寺 常福寺 西福寺

淨教寺 四圓通寺

新助町 門前町 本堂宿山園 子園林皆東面本堂阿彌陀佛木

新助町

此町西側長短同シカラ 又南側ハ下町ノ東ヨリ
香積寺門前町ノ西ニ続キ長廿二十五間戸數七
軒北側ハ下町ノ東ヨリ新田町ノ西ニ続キ長十
一丁三尺戸數二十軒街ノ西首ニ大廿六尺四方
ノ井ヲ鑿キ

香積寺門前町
此町南片側三列ノ新田町ト相向西側トナ
助町ノ東ヨリノ間ノ西ニ狭ク長廿一丁二十
五間ノ敷二十五軒又町ノ中ニ横小路アリ戸敷
三軒白塔トシカラス

皆

熊野社 社地東西十六間南北十一間 社家 樋口河内
町ノ横小路ノ南ノ方ニアリ一町ノ産土神ニノ
祭日ハ三月十五日勸請ノ年代詳ナラス
本社一箇二尺一箇二尺萱葺東面
幣殿一箇二尺二箇三尺萱葺東面

拜殿 二間三一間二尺壹昔東白

石鳥居 高一丈五尺幅九尺

光圓寺 境內東西三十五間
南北十八間三尺

町中程ニ大門アリ南ノ裏二十間ニ入レ淨土真

第ニテ山号ヲ復方山ト云フ因基ハ寺ノ由緒ニ

任々木三郎盛綱親鸞ノ弟子トナリ 按スルニ盛綱ノ

弟子リレド外ニ考ハ所無ト
是モ寺ノ由緒ノ記ニ 法名西念坊ト号ス

越后信濃兩國ノ葉教化ノ為所々歴廻リ此地ニ

所縁ヲ求テ草廬ヲ結ビ暫ク居住ス是承元年間

ノ事ナリ其後文中ニ至テ崖如祖師ノ舊址ヲ

順回ノ時ハ草庵ヲ訪ヒ阿波院ノ画像ニ柏崎村

光圓寺ト書添テ庵主道性ニ與テ是ヨリ一寺ト

ハナリ又

後陽成院ノ御宇ニ織田家ヨリ本願寺破却ノ時當

寺ノ住職性了モ大坂ニ登リ元龜元年ヨリ天正

十年迄本山ニ籠居シ臂力ヲ盡シテ所執スルノ數

年終ニ天正十年十二月廿二日戦死ス夫ヨリ慶

長二年迄無住ナリシカ加別金沢寺光寺ノ系ヲ

道慶ヲ當寺ノ住職トス是ヲ中興開山トス道慶

天正親町三條家ノ所縁ノ僧ニテ今ニ代々三條

家ノ猶子ト十八ト云ノ京師東本願寺ノ木山十
 多殿十一間三尺ニ九間二尺板皆北面本尊阿
 陀院如來木佛立像長ク二尺五寸惠心ノ作ト云
 傳ノ
 庫裡 十七間ニ七間三尺板皆東面
 鐘樓 二間四方板皆
 塔頭 竹光寺 了念寺
 大圓寺 免除地
 光圓寺

新田町

此町北片側ニ列ス香積寺内前町隘魔町ト相向
 兩側ト十八新助町ノ東ヨリ隘魔堂境内ノ西ニ
 續リ長ク七十間斗幅三間戸敷二十九軒

本社九尺二丈板首北面
幣殿十九尺二二間板首北面
拜殿三間三尺二二間板首北面

閣魔堂

境內東西四十間南北二十間

堂守

今并即之道

町中三ツリ天平年間

聖武帝勅願アリ三勅善徳忍ノ結縁ハ為ニ經營ニ
玉ノ所ト云傳フ古ハ七堂伽藍備ハリテ藤氏ノ
公卿武家ノ寄附ノ文書ニ儼存ニ又長町大町ノ
街中ノ地藏薬師ノ石像ハ泰澄ノ再ニ開眼

供養ヲ経テ一ノ堂ノ奉尊ト崇敬スト古人古記
ニ見ハタリトノ寛治年間有徳ノ僧侶一ノ堂ニ聚
リ清頂ノ行法ヲ修シ弘法自作ノ像ヲ安置ニ因
家安徳ノ為秘法ヲ修セリト弘法ノ像存在今ニ
傳フ堂ノ裏沙濱ノ切徳ノ濱ト云傳フ
堂七間二尺二五間三尺量昔ノ閣ノ木佛座像長
ハ三尺八寸其餘ノ九五尺ニ木佛座像長ハ三尺
二寸十體皆行基ノ作地藏婆鬼不佛座像共ニ長
ハ三尺俱生神木佛立像長ハ三尺以上三體春日
ノ作弘法大師木佛座像長ハ三尺一寸自作下品

ノ阿弥院如来木佛立像長々一尺二寸傳教ノ作
ト云傳フ

正福寺

境内東西八間
南北四十五間

所ノ内ニワリ浄土真宗ニシ山号ヲ永竜山ト云
了宗師東本願寺ノ末山ナリ天正十一年了順ト
云フ僧加洲石川郡金沢ヨリ此所ニ移リ納屋所
ニ一字ヲ造立ス寛永七年二代目ノ僧慶順十八
者本山ヲ請テ今ノ寺号ヲ許リ八其後境内年因
水潦ノ為ニ嚙シテ地所縮リタレハ貞享四年ニ
今所ニ移リ凡カ寛曆九年ニ回祿ニ罹リ堂室モ

鳥有トナリクシハ再ニ又ハ所ハ轉移リ又

客殿七間ニ八間萱葺本尊阿弥院如来木佛立

像長々二尺五寸作者詳ナラズ

庫裡六間ニ十間萱葺東面

免除地

圖魔堂

正福寺

下新田町

此町南北兩側長短同シカウ、南侧ハ園魔町東
ヨリ比角村新田ノ西ニ續リ長廿五十三間北側
ハ園ノ堂境内末ヨリ比角村新田ノ西ニワ、リ
長廿二丁一間斗町幅三間戸數七十四軒凡ソ当
町本町通り川町ニ始リ園ノ町マテ一條ノ街下
新田町ト諏訪新田町トニ至テ岐ノ兩端トナリ
下新田町三國海道ノ出ニ諏訪新田町ハ北陸道
ノ官道節ナリ

人阿加茂也夫本町之儀也
下新田町ノ北側ハ園ノ堂境内末ヨリ比角村新田ノ西ニワ、リ
長廿二丁一間斗町幅三間戸數七十四軒凡ソ當
町本町通り川町ニ始リ園ノ町マテ一條ノ街下
新田町ト諏訪新田町トニ至テ岐ノ兩端トナリ
下新田町三國海道ノ出ニ諏訪新田町ハ北陸道
ノ官道節ナリ

寺附アリ其後堀久太郎秀政五回知行ノ時今ノ
鶴川ノ島東西八十間南北六十間ノ地ヲ寄附アリ
リテ秀政ノ女ヲ当寺ニ嫁セシカ子十ヶレハ兼
應年中高田ノ淨興寺十七代ニ心院本山ノ願
玄端寺ヲモ淨興寺ニ改メ其時本山ヨリ鶴川ノ
坊ノ号ヲ免許アリコレハ今門前ノ所坊所ニ云フ
客殿於十二間ニ十間板葺本尊阿彌陀如來木佛
立像長ク三尺一寸八分聖位太子ノ作ト云フ
庫裡於十五間ニ五間葺葺南面

廊下 三間ニ五間三尺板葺東面
鐘樓 二間四方板葺
門前 后側戸敷三十三軒所坊町ト云フ
塔頭 專念寺 本龍寺 正法寺

免陸地

淨興寺

浄興寺 免陸地 本龍寺 正法寺 鐘樓 門前 塔頭

香積寺

境內東西二十間 三天
南北三十三間

所ノ南側ニリ曹洞宗ニ山号ヲ飯桶山ト云
ノ柏崎権頭勝長建長年間開基ノ寺ナリ勝長法
名ハ峰松院月青文秀康元元年二月二日没ニ室
ハ梅室好香同年十一月六日死息華若九十八七
出家ノ三十四才ニ死ス其ニ墳墓寺中ニ存ス
往古ノ寺地ハ同郡飯野村ニ在リ今ニ香積寺次
ハ云ノ勝長ノ館廢セニ跡存リ地ハ楊八間山ハ
越前國永平寺九世ノ法孫龍傳量金ト云ノ加州
石川郡金沢竜谷寺ノ玉憲法嗣ノ上足ノ僧ニリ

末山

當國教化ハ時當寺ヲ種破見起再建也曹洞宗

ハノカレハ本寺ハ竜谷寺ニ末山ハ陸奥出羽
他渡三ノ國ノ内九十餘箇寺ナリ何レモ當山代
々ノ法孫ニ宗旨昌隆ノ禪刹ナリ明応元年長
尾能景外リ飯野村ニ於テ七千七十州ノ陸地ヲ
至ハハ所ノ寺附狀存傳表ニ其地ハ度々ノ只
乱ノ後山田具ニ没所トナシ慶長三年堀家寄附
ノ地寛永十三年松平越後守寄附地ハ于今諸役
免除ノ謄文有ニ爾後ノ領主ノ除地トナシ當寺
七代大通ト云ノ僧道位下リ時ニ曹洞ノ宗匠天

六年間... 後奈良院所崇教有... 紫衣ヲ玉ハリ後佛智祥師ト
 劫許アリ天明六年閑束三箇寺ヨリ隨會并會下
 ノ免許アリ寛政二年又三箇寺ヨリ片法幢會地
 ノ免許アリ
 空殿 十二間ニ九間板葺東面本尊釈迦木佛座
 像長ト五尺春日ノ作照士文殊普賢共ニ木佛座
 像長ト二尺五寸迦葉阿難共ニ木佛立像長ト三
 尺弘法ノ作ト計何下
 正觀音ノ木佛座像長ト三尺弘法ノ作ト計何下

厨子入
 觀音 銅佛立像長ト三寸五分柏崎勝長ノ守本
 尊ト云ク厨子入扉ニ奉澄ノ作トアリ
 御影堂 三間三尺四方板葺東面
 禪堂 五間ニ六間萱葺北面本尊正觀音木佛立
 像長ト四尺行基ノ作ト云付下
 庫裏 六間 十二間板葺南面
 參寮 三間三尺ニ四間板葺北面
 鎮守社 二間ニ二間三尺萱葺南面
 總門 二間ニ三間二尺板葺

守能景十八ハ之父重景早ク死ハ祖父賴景ハ跡
ヲ相統メ為景ノ父ナリ明應七年九月十九日卒
天徳院高嶽正統ト云フ

田地指石之石

今寺進之石也

何名の石

是長し十首有

城垣如也

寺
五

香積寺
系

本妙寺

境内東西三十三間
南北二十間

香積寺ノ南隣ニアリ法華宗ニノ海巖山妙樂院

ハ云ノ房州長狹郡小湊誕生寺ノ末山ナリ行古

ハ同郡高柳郷蘇島村ニ在テ妙樂寺ト云天台宗

ナリシカ延慶年間日蓮ノ法孫日印ト云僧当所

ニ寺ヲ移セシヨリ今ノ宗旨トナシ

任渡陣ノ時上教景虎ト寺ニ止宿タリ在持ノ僧

異ナリ智識ニテ殊更武勇ノ健ハ在持ノ僧

越中發向ノ御モ折々誅列シテ存持ノ僧

ノ書レリ軍鑑ノ見積トモ功積本ノ敵方ニ列

前ヨリ丈夫ニ勤メテ終ニ事ナシ今度ノ役モ

亦相從ヘリアリハ妙樂院ノ事ナシ今度ノ役モ

モ山事ヲ何レノ寺ト定カテテサハ如リ詔道

又前ノ寺間三入木ノ坐像身ナリ

香殿 七間三尺八間 楠茸木尊秋迦多宝共ニ

木佛坐像長々二尺五寸

毘沙門神體木ノ立像長々一尺七寸行基ノ作上

秋景勝ノ守神ト云ノ当山ノ鎮守也

三十番神共ニ木ノ坐像長々二寸五分

庫裡 八間ニ四間三尺楠茸

門前 戸敷七軒

一念寺 境内東西五十八間
南北四十八間

本妙寺ノ南ニ隣リ鴉川ノ東岨ニアリ時宗ニテ

海照山回向院ト云相州藤沢清淨光寺也
開基ハ永仁六年遊行ノ二祖他阿真教当回修
行時教入ト云僧小庵ヲ結ビ有レリ真教ハ菴室
ニ區苗ノ節一念寺ト云テ寺号ヲ授ケレリ今
ニ至テ五百年餘ノ星霜ヲ経タリ
本堂五間ニ九間板葺本尊阿彌陀如來木佛立
像長ク二尺六寸運慶ノ作也觀音勢至只ニ木
佛立像長ク一尺六寸五分
庫裏三間三六間五尺板葺本尊殊也
天満宮二間三尺ニ三間三尺木ノ坐像長ク七

寸管家ノ自作ト云フ

稻荷社小祠ナリ当寺ノ鎮守
門前戸敷六軒

館蹟

今香積寺ノ寺地是ナリ柏寄権頭勝長ノ館迹ト
云フ事ハ香積寺ノ條ニ見ヘタリ
免除地

香積寺 本妙寺 一念寺

庫裡 三間 = 六間 三尺 板葺 東面

門 幅 二間餘

門前 堂 戶 教 五軒

明藏寺 境内 東西 二十 間 南北 二十 間

法禪寺 西北 = 隣 八 真言宗 = 本山 求法山院

長勝院 山城 國 醍醐 山 報恩 院 / 末 山 丁

觀心 年間 栄鏤 云 僧 開 山 = 同 郡 鈕 野 村

三 丁 上 枚 家 祈 願 所 夕 里 上 枚 景 勝 奥 州

上 枚 祈 願 所 上 枚 景 勝 奥 州

会津 彩 里 時 教 箇 密 寺 彼 地 = 隨 從 之 当 寺

其 奠 = 元 跡 地 八 廢 也 云 僧

願 心 之 茂 門 徒 下 力 合 也 再 建 下

客 殿 九 間 = 十 一 間 板 葺 東 面 本 尊 金 剛 思 大 日

木 佛 座 像 長 二 尺 六 寸 六 分

庫 裡 七 間 = 七 間 三 尺 板 葺 東 面

觀 音 堂 二 間 = 三 間 板 葺 北 面

清 瀧 権 現 社 七 尺 四 方 板 葺 北 面 当 山 一 鎮 守 十

門 幅 三 間 餘

什 物

大勝金剛法像

故上杖管領奇附

一幅

愛染繪像

弘法ノ筆

一幅

不動繪像

弘法ノ筆

二幅

聖天像

作者不詳 大向寺 一 軀 蘇子十

法禪寺

免除地 同 蘇子十

法禪寺

明藏寺 蘇子十

蘇子十 蘇子十 蘇子十 蘇子十 蘇子十 蘇子十 蘇子十 蘇子十 蘇子十 蘇子十

蘇子十 蘇子十 蘇子十 蘇子十 蘇子十 蘇子十 蘇子十 蘇子十 蘇子十 蘇子十

蘇子十 蘇子十 蘇子十 蘇子十 蘇子十 蘇子十 蘇子十 蘇子十 蘇子十 蘇子十

蘇子十 蘇子十 蘇子十 蘇子十 蘇子十 蘇子十 蘇子十 蘇子十 蘇子十 蘇子十

高畑町

廣小路町ノ東ヨリ下浦町ノ西ニ繞リ家並南北

兩側ニ列ス長廿四十六間幅二間戸數二十八軒

大勝金剛法像

愛護法像

不動法像

聖天像

法華寺

...

西邊二門ノ邊ノ四十六間部二箇ノ邊ニ十八陣

高畑町ノ東ノ邊ノ一丁四十四間幅一間四尺戸敷五十五

高畑町

下浦町

高畑町ノ東ノ邊ノ通照寺門前ノ西ニ繞ル家並南

北西側長一丁四十四間幅一間四尺戸敷五十五

軒...

兼訪社

社家 樋口 河内

町ノ北側中程ニテリ柏崎ノ總鎮守ナリ延暦十

二年同司城上田村北將日本紀延暦九年近衛ナ

村麻呂為兼越後三島郡高志建ニ命シテ日隅縣

守ト見ヘタリ

二番請ス北陸鎮護ノ故ヲ以具地ヲ鎮社ト稱ス

社ニ乗リ

千度之令
字度上之方

十一、八、對馬、同、元知七年、当社、神職相續、社
領、再造、則、今、社人、河内、祖也、神事、毎年
六十度、大祀、七月廿五日、ヨリ、廿七日迄、總所、
神樂、渡入、其時、儀、鳥居、九、七、所、立、リ、
本社、二、間、四、方、極、葺、南、面、
幣殿、二、間、三、尺、三、間、極、葺、南、面、
拜殿、三、間、三、尺、二、間、三、尺、極、葺、南、面、
神樂殿、二、間、三、尺、極、葺、南、面、
鳥居、高、廿一、丈、六、尺、幅、二、間、
天満宮、極、葺、東、面、小、祠、末、社、也、

聞光寺

境、内、東、西、四、十五、間、
北、六、十一、間、四、尺、

町ノ南側中程ニアリ淨土真宗ニテ京師末本願
寺ノ末山也山ヲ無量山院ヲ清和院ト云テ開基
宗觀俗姓ハ從四位上鎮守府將軍伊豫守降賴亮
六代ノ俊胤井上九郎光盛ノ末子井上四郎高美
是ナリ母ハ小坂九郎弟遠ノ女元暦元年信州井
上城ニ生ハ父光盛ハ本曾弟仲ニ屬シ壽永元年
信州横田川原合戦ニ越后城四郎永茂ヲ斃
リ同年弟仲生著ノ後ハ本國信濃ニ歸リ文治二
年弟仲ノ仇ヲ報ハント井上城ニ旗ヲ揚シニ合

戦利ナクノ鎌倉ニ生捕ラレテ誅ニ伏スルトテ嫡
子天井太郎忠長長ハ九郎光盛ノ兄桑洞五郎清
統ノ承天四年忠長親鸞ノ教化ニ出家シ明性
ト云フ下總國葛飾郡碓部村勝願寺ノ開基也
ヲ呼ビ遺言ヤシハ吾武門ニ生レ唯干才ヲ事ト
シ一生ヲ過セリ更ニ後世ノ資ケテシ願クハ今
三才ノ末子四郎高弟ヲ養育シ成長ノ後ハ出家
ヲ遂ケセ又カ菩提ヲ訪ヒ得テトハシト孤ニ甲
曾短刀等ヲ以テ添テ忠長ニ託ヤシニ忠長向恩ノ
世ノ無常ヲ觀ヒ出家シ高弟ヲ養育シ井上ノ家
名ヲ統ヤシト父光盛ノ遺言ヲ言ハシ二十餘年

ヲ経タリ高弟生得多病ニ父祖ノ武名ヲ継ハ
キコトヲ可ナク天非レハ承久三年忠長初テ父光
盛ノ遺言ヲ告又高弟終ニ出家ノ親鸞ノ系子ト
ナリ名ヲ宗觀ト改メ下總國葛飾郡碓部村ニ於
テ当寺ヲ開基ス系二代宗永本山ノ三代覺如ヨ
リ開光寺ト云寺号ヲ免許アリ三代宗賢ノ時信
濃國ハ祖父宗觀迄代々先祖ノ生國ナレハ忠長
元年下總國ヨリ信濃國高井郡小柳郷鳩村ト云
処ニ寺ヲ移テ堂舎ヲ造立スハ代中興ノ開基永
順元龜天正ノ頃本山藏田家ト戦争ノ時教度忠

カヲ嗣_三依_三本山十一代頭如十二代ノ教如
ヨリ種々ノ褒賞有テ宗門ノ教化專トセリヨリ
檀越委許トテク帰依アリ然ハ二天正ノ末信州
コトト_三乱テ坊舎居ヲ占難ケレハ天正十二
年親鸞ノ舊跡ヲシクニ越后國頸城郡米山寺村
ニ寺ヲ移セシメ文祿三年九代永尊門徒教化ノ
為寺ヲ回國今ノ寺地ニ移ルニ時得難故ニ
本堂前十六間ニ十七間萱葺北面本尊阿彌陀木
佛立像長ケ三尺惠心ノ作正觀音木佛立像長ケ
二尺八寸泰澄ノ作下云何下云何ハ後ニ下ニ

庫裡 十五間 三十五間 三尺萱葺東面

門 板葺西面

什物

十字尊號 親鸞ノ筆ト云付

聖徳太子給像 同上

金泥光明佛 覺如ノ筆ト云付

天満宮像

用白画ナリ銘文年教ヲハテ不分明
終リニ延喜ニ壬戌年正月吉日
朝臣春ハアリ印ヲ
蓋トニトヒキ金泥

塔頭 等養寺

望雲寺

光了寺

福海寺

境内東西四十間
南北二十八間餘

圓光寺ノ東ニアリ時宗ニノ山ヲ魚量山院ヲ長
壽院ト云フ相州藤沢清淨光寺ノ末山ナリ開基
ハ建治二年但阿ト云僧一遍上人當國修行ノ時
隨順セリニヨリ山寺ヲ營ヒ福海寺ノ号ヲ免許
アリ
本堂ハ心間心方板葺南面本尊阿彌陀木佛立像
長ク一尺三寸惠心ノ作ト云フ
庫裡 三間四方板葺南面
熊野權現社 十祠ナリ当山ノ鎮守也
門前家ノ西側家並揃ヒ戸敷ニ十ノ軒

遍照寺

境内東西五十三間
南北五十間

所ノ南側福海寺ノ東隣ニアリ真言宗ニテ山ヲ
日鏡山院ヲ宝幢院ト云紀州高野山心南院ノ末
山ナリ開基ハ久安二年心南院ノ弟子深運ト云
フ僧回國修行ノ時當寺ヲ建立スト云フ
客殿 七間三尺ニ九間三尺板葺東面本尊大日
木佛座像長ク一尺七寸阿彌ノ作聖天弘法ノ
作ト云フ
庫裡 五間ニ八間葺葺北面
稻荷社 九尺四方板葺西面当山ノ鎮守ナリ

什物 天竺木林黃白面吉山寺觀音十一尺
涅槃像 二尺 廣輝ノ華 尺北白ノ木山寺觀音

普門寺

一寺圓通山觀音院ト号シ一箇寺タリシカ今ハ
六觀音堂ト稱シ遍照寺境内ニ合入ル本尊八尺
觀音堂 三間ニ五間板葺北面本尊十一面觀音
木佛座像長ク一尺五寸行基ハ作ト云然レ一
庫裏 三間四方板葺北面高徑山ト南別ノ末
門前家 戸數二十七軒 實善堂ニニ山ト

福嚴院

境丹波西三十九箇
南北三十五箇三箇

町屋時

町ノ東端遍照寺ノ東隣ニアリ曹洞宗ニテ山ヲ
柏采山ト云フ當時香積寺ノ末山ナリ康治年間
志入ト云僧開基ノ舊蹟ニテ天台宗ノ山ナリ
九年未度絶たリリリ香積寺ノ十一代是察ト
云僧中興セリヨリ曹洞宗ト云クニ云テ言ハス
客殿 六間三尺ニ八間三尺萱葺東面本尊釈迦
木佛座像長ク一尺一寸服士阿難如葉共ニ木佛
之像長ク一尺二寸
所影堂 二間ニ三間板葺東面
庫裡 四間三尺ニ六間板葺南面

并子可削

四首和

衆寮 三間三尺二四間三尺板葺北面
 地藏堂 二間三尺二三間板葺北面本尊延命地
 藏木佛座像長一尺弘法ノ作ニテ因基志久一
 生隨身ノ聖像文祿ノ初堂宇頼破ニ及テ是寮中
 興七ニ時上枚家ノ旗下当郡赤田ノ城主裔為下
 野守居依アリテ地藏堂佛供牙科ヲ若干寄附ス
 門前家ノ戸數十二軒
 免除地
 諏訪社 聞光寺 福海寺 遍照寺 福嚴院
 四ノ東蘇剎惣寺 東蘇剎寺 蘇剎寺 蘇剎寺

北裏町

納屋町 法華堂下町 西ニ延リ南尾側
 扇町裏北ヨリ四ツ屋町西ニ延リ北ハ海岬ヲ隔
 ル丁三丁斗家迄南北両側長廿六丁斗幅三間
 戸數百四十六軒

... 四ノ屋町 ... 納屋町ノ東ヨリ法華堂下町ノ西ニ築リ南長側ノ町也長廿六十間斗戸敷三十軒

四ノ屋町

納屋町ノ東ヨリ法華堂下町ノ西ニ築リ南長側ノ町也長廿六十間斗戸敷三十軒

不動院

境内東西三間五天

所ノ中程ニアリ修驗宗ニテ山ヲ石動山ト云フ醜醜三宝院ノ末院ナリ大永三年羽刈羽里山ノ山伏忍雲ト云者ノ開基ナリ柏崎中修驗宗只此一院也

護摩堂 二間三尺ニ三間板葺北白木尊不動木佛之像長々八寸凡法ノ作ト云傳

輝裡二間三尺六間三尺量葺南面

免除地三入三三間外葺北白木葺不燼不

不動院

山外葺一云古ノ間基ナリ林外中葺葺六九

間三三葺ノ末ノナリ大木ニ葺何所尾山ノ

西ノ中葺ニナリ葺葺ニ山ノ外葺山ノ云々

不燼所

南北十二間
東西三間五入

八間身ヲ六十間ナリ葺三ノ葺

葺葺ノ東ニ葺葺葺不葺ノ西ニ葺ノ南ヲ

日ノ葺

法華堂下町

四ツ屋町ノ東ヨリ本町通リ下町ノ裏ニ止ル南

比側ノ町ナリ長廿四十五間餘テ敷二十二軒

淨願寺

境内東西六十三間
南北十二間

町ノ南端ニアリ淨土真宗ニノ山ヲ鶴来山ト云

テ宗師末本願寺ノ末山ナリ間基ハ天正年中加

州石川郡鶴来村ノ僧淨善ノ地ニ末ノ日当寺ヲ

創ス

多敷八間ニ九間一尺板葺東面本尊阿弥陀木

佛立像長々一尺四寸三分安河原ノ作ト云付

庫裡 五間 三 十間 萱草 南 白 水 池 十 五 以 下
鐘樓 二間 四方 一 八 軒 東 白 水 池 南 池 水

塔頭 二 宋 念 寺

淨願寺 本 縣 寺 未 山 十 八 開 基 八 天 五 在 中 山

南 院 寺 寺 在 南 上 真 宗 二 山 十 餘 未 山 十 五

新 縣 寺

南 六 十 二 間
東 十 五 十 三 間

西 院 寺 十 八 身 中 四 十 五 間 籍 寺 考 二 十 二 條

四 院 寺 十 八 身 中 四 十 五 間 籍 寺 考 二 十 二 條

共 華 堂 十 四

